

幼時報

題字／栃木県知事 福田富一氏

第101号

平成22年6月20日

(社) 栃木県幼稚園連合会

〒320-0033 宇都宮市本町12-11 栃木会館2階

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人／馬場章信 ●発行人／石嶋 昇

■栃幼連ホームページ <http://www.youchien.or.jp>



理事長挨拶

初心を忘れず全力で

栃幼連理事長 石嶋 昇



五月通常総会におきまして理事長に再任されました。「二年前、今期限りとのお約束でお引き受けしておきながら」と心苦しい思いがありますが、「難しい振興活動を考え、現執行部体制を維持すべき」という全会一致の推薦を受け、決断させていただきました。

勿論、平成二十二年度予算が、僅かとは言え減額されたことへの責任は、重く受け止めております。会員の皆様が執行部に求めているものは重々理解しておりますので、期待に応えられるよう全力を尽くしてまいります。

さて、大きな制度改革の連続、

私学助成の削減、政権交代による混乱等、幼稚園を取り巻く環境は益々厳しさを増しています。

新政権の進める「子ども・子育てビジョン」では毎年保育所入所者の五万人増を目指し、「子ども・子育て新システム検討会議」では幼保一体化が検討され、「地域主権改革関連法案」では最低基準の地方条例化・児童福祉法改正等が審議され、子育て環境の更なる悪化が懸念されるなど、とても「子どもの最善の利益」には程遠い政策が進行中です。

子どもを真ん中に据え、子どもの幸せを第一に願いながら、苦しい環境の中でも日々の保育に全力で取り組んでいる我々に、とり、はがゆく、残念な思いでなりません。

子どもの成長は待つてくれません。我々はこれまでも、そしてこれから、日本の幼児教育を担っていくのだという、自負と責任感を持って、地道に幼な子の健全育成に取り組んでいかなければならないのです。そのために、幼児

教育を担っているのは、しっかりとした研修体制が整い日々園の外で研鑽に努めている幼稚園であることを、もっと世間にアピールする必要があると思います。これからの振興活動は、私学助成に止まらず、幼稚園教育の広報活動にも力を注ぐ必要性を感じています。私もこれからの二年を、初心を忘れることなく、全力で取り組んでまいりる覚悟でございますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

文書学事課長就任にあたって

文書学事課長 新井 隆



本年四月に文書学事課長に就任いたしました新井です。どうぞよろしくお願いたします。

栃木県幼稚園連合会の皆様には、日頃から幼児教育行政や県政の推進に対しまして、特段のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、ご案内のとおり、私たちを取り巻く環境は、少子高齢化や情報化、国際化などの進展とともに急速に変化しております。こうした社会情勢を反映して、今日の子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しております。特に、命の大切さや善悪の判断、基本的なし

つけの大切さなど幼児教育のあり方が問われています。

このような中、国の「子ども・子育て新システム検討会議」がスタートし、幼保一体化を含む新たな次世代育成支援の検討が始まり、今年四月には、新しい子育て支援制度のあり方協議のため、子育て施策の担当部局や財源等の一元化などの方針が示されました。今後、幼児教育と保育との一体的提供などについて引き続き検討が重ねられ、幼児教育の大切さと社会全体で子育てを支援するという気運がこれまで以上に高まってくることでしよう。

幼稚園は、幼児に対する教育ばかりでなく、その父母をはじめとする保護者に対し、幼児期における教育相談や情報提供を行い、地域における子育て・教育センターとしての役割を担っており、県民からの期待も従来にも増して大きなものになると思われます。

栃木県では、個性を生かす特色ある教育の充実、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりに鋭意取り組んでいるところで、次の時代を担う子どもたちが、明るく元気にそして心豊かに成長できるよう、引き続き栃木県幼稚園連合会や幼稚園の皆様と連携させていただき、幼児教育の振興や子育て支援の充実などに力を尽くしていきたいと考えております。皆様のさらなるご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

平成
21
年度
三月総会

平成二十一年度三月総会が、去る三月二十五日（木）午後二時より宇都宮市二荒山会館にて開催された。

佐藤峻介総務委員の司会進行のもと、定刻に石嶋勇副理事長の開会のことばに始まり、石嶋昇理事長の、本総会の議案である平成二十二年事業計画（案）並びに収支予算（案）について、今後の私学助成の段階的削減にむけて、団結して難局を乗り切ろうとの言葉と共に慎重審議を願う挨拶があった。



来賓を代表し
栃木県経営管理部
文書学事課副
主幹厚木教明様
からご祝辞をい
ただいた。

【議長選出】

安達啓明氏（栃木幼）

【資格審査】

（二百四園中）出席園 九十二園

委任状出席 百十園

【議事録署名人】

宮入玄英氏（足利ひかり幼）

斎藤佳子氏（しずわでら幼）

【記録人】

事務局大森愛実、河合智美両氏
以上の手続きを経て議事に入った。

【第一号議案 平成二十二年事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認について】



まず石嶋理事長より、事業計画（案）について説明がなされた後、各委員長から事業計画（案）について具体的な説明がなされた。続いて平野

総務委員長から平成二十二年収支予算（案）について説明があった後、慎重審議の結果、原案通り可決承認された。

議事終了を受け、中川副理事長のあいさつで閉会した。

総会後、とちぎ海浜自然の家所長新沼隆三氏より、施設を大いに活用してほしい旨

の言葉があり、幼児教育センター長増田眞千子氏より

の挨拶、社団法人栃木県私立幼稚園振興会金子理事長

より同会の説明があった。

議事終了を受け、中川副理事長のあいさつで閉会した。



平成
22
年度
五月総会



去る五月十二日（水）午後一時三十分より宇都宮市のコンセーレを会場に平成二十二年五月総会が開催された。

当日は、来賓として栃木県議会議長野田尚吾氏、栃木県経営管理部文書学事課長新井隆氏、同副主幹村上順一氏、同主査池澤紀子氏、幼児教育センター長増田眞千子氏のご臨席を賜り、石嶋理事長の挨拶に引き続き野田様、新井様両名からご祝辞をいただいた。



【資格審査】

（二百四園中）出席園 百十五園

委任状出席 八十九園

【議事録署名人】

香川玲子氏（鹿沼ひかり幼）

月江ハル氏（虹ヶ丘幼）

【記録人】

事務局大森愛実、河合智美両氏
以上の手続きを経て議事に入った。

【第一号議案 平成二十一年度事業報告並びに収支決算書の承認について】

最初に石嶋理事長による総括的事業報告が述べられ、次に各委員長から委員会の事業内容が順次報告された。さらに収支決算報告、監査報告がなされ、慎重審議の結果、原案通り可決承認された。

【第二号議案 役員改選について】

今回は役員改選期にあたるため、栃幼連定款並びに栃幼連細則にもとづき審議を行い、理事及び監事が原案通り選任された後、理事の互選による正副理事長、常任理事が紹介され、満場一致で承認された。



【議長選出】

花岡義郎氏（梅が原幼）

副理事長挨拶

栃幼連副理事長 石嶋 勇



この度の栃幼連五月通常総会において副理事長として選任され六年目のスタートを切らせていただきました。

副理事長五年間の経験を生かし、栃幼連発展の為努力して参りますので会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年八月の衆議院議員選挙において自民党政権から民主党へと政権交代がありました。このことにより民主党マニフェストの超目玉である「子ども手当」が六月より開始されます。平成二十二年度は、二兆円以上の予算を計上し、一人一万三千円が毎月その保護者へ支給されることになりました。少子化対策や経済対策にその効果が期待されていますが、果たして費用対効果は？幼児教育への影響は？幼保一体化（一元化）は？不透明な部分が多く政策を注視して参ります。

今後は、幼児教育の質の向上と経営基盤の安定を図り会員の皆様と情報を共有して組織の結束力で子どもたちの幸せの為に全力で頑張ります。

私はこんな人

素直で優しいまじめ人間（自己評価）

素直で優しいのは認めるが決して真面目だとは認めない（外部評価）

栃幼連副理事長 小林 研介



この度の栃幼連五月総会において再度副理事長という大役を仰せつかりました。

ご承知のとおり栃木県の幼稚園を取り巻く状況は、県の補助金の大幅なカットの動きが見られた二十一年度はもとより、国の制度としても民主党政権が打ち出した「子ども・子育て新システム」の幼保改革の波の中、行き先がますます不透明というところです。また教職員の待遇改善や確保の問題が緊急の課題として上がってきています。さらに教員の資質向上をしつかりと図ることは幼児教育の旗手としての幼稚園の永遠の課題であると考えます。

こんな時こそ、栃木県の全幼稚園が組織する栃幼連の結束が必要であることは言うまでもありません。引き続き石嶋理事長を補佐する立場として各会員・各園間の意思の疎通を良くする潤滑油の役目を自覚して動く所存でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私はこんな人

大きな器の保育者を育てられたいと思います

栃幼連副理事長 中川 祐慈



この度、五月総会におきまして、引き続き副理事長の大役を仰せつかりその重責に改めて身が引き締まる思いがいたしております。浅学非力の身ではありますが石嶋理事長を補佐し精一杯努力していく所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

昨年度、県財政の悪化と収支是正を理由に唐突に「とちぎ未来開拓プログラム」による私学助成削減の試案が示されました。幸い栃幼連・栃幼P連を上げての反対署名活動や、幼児教育を考える議員連盟の皆様など関係各方面のご尽力により当初試案を大幅に回復することができましたが、私学助成が削減対象になったことは衝撃であり現状回復に至らなかった点、前進を果たせなかった点は課題として残ります。また、政権交代により幼保一体化が動き出しました。具体的な内容はこれから示されるわけですが、今年度はそのような点からも政局の動向とも相まって見極めと対応がさらに重要に

なってくると感じております。

また、私たちがよりよい教育を目指し、知識や技術を蓄積し社会にメッセージや情報として発信していく。この辺を組織として機能させていくことが連合会の公益性を高め幼稚園への評価や認識につながり、振興活動につながると考えます。皆様の手足となり頑張る所存でございますのでよろしくお願いいたします。

私はこんな人

割と徹底している（と言われる）

各委員長挨拶

総務委員長 平野 章雄



引き続き委員長を仰せつかり、微力ながら任に当たりたいと覚悟を決めたところです。

総務委員会は、連合会として加盟園の幼稚園・教職員・園児に対して何が出来るかを追求していくことが目的であり、組織的には各委員会・事務局との連携を密にして、会務の円滑な執行を目指しております。激変の時を迎え、皆様のご理解とご協力を得て、成果を挙げたいと思っております。

私はこんな人

土と緑に触れていると幸せを感じる人

振興委員長 磯 行雄



昨年度に引き続き委員長を務めることになりました。

今回は県より

「段階的補助金削減」が提示されておりますが、なんとしても削減を止めることが最大の仕事と受け止めております。

「人は集団で力が出る」をモットーにがんばるつもりでありますので、皆様お一人・お一人のご協力をよろしくお願いいたします。

●私はこんな人
人間大好き

教育研究委員長 戸田 直樹



研修・研究は、教師にとつては必要且つ大切なものです。今回図らずも、その委員長を引き受けることになり、いささか荷が重いなと感じています。幸い前年度の委員の先生方もおられますので、その力を借りながら、頑張っていこうと思います。講座に参加される先生方に満足していただけのように努めていこうと考えています。

●私はこんな人

現場が一番楽しい。子ども達と一緒に動けなくなった時には引退です。

経営研究委員長 酒井 精一



幼保一体化を目指す「子ども・子育て新システム検討会議」が始まり、今、新たな変化の中

に幼稚園は置かれています。この重要な時期に二期目の重責を仰せつかりました。微力ですが、所属メンバーの協力を得ながら、皆様にタイムリーな研修を提供していきますので、ご期待ください。

●私はこんな人
勤勉・几帳面・酒好き

広報委員長 馬場 章信



図らずも委員長になってしまいました。が、青柳信一、副委員長他九名の広報委員、そして十名のHP委員の

皆様と共に、二年間の職責を全うして参りたいと思います。広報の役割は、発信と記録です。『栃幼時報』を中心に据えながら、インターネット、マスコミ等を通じての広報活動も充実させて参ります。皆様のご協力をお願いいたします。

●私はこんな人
整理整頓が苦手で、いつも探し物をしている人

102条園対策委員長 根室 隆宣



私たちの使命は、子どもたちの健やかな成長の為に全力で教育に取り組むことです。

このことは、学校法人立園も個人立園も同じ思いであるはずで

今、幼稚園が、園の成り立ち、運営形態の差によって、補助金で大きく区別されることは、園の存続にも関わる重大な問題になっております。現状が僅かでも改善されることを切に願い、本分を全うして参ります。

●私はこんな人

音楽をこよなく愛する人

青年部委員長 黒川 弘照



このたび青年部委員長を仰せつかりました黒川と申します。

私たち二代目世代の前に横たわる、今まで経験したことのないさまざまな問題。この時代を真正面から受け止め戦わなければならない世代。志し同じ青年の絆をさらに深め共に成長できよう、活動させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

●私はこんな人

オートバイで日本を旅しています。

第1回 栃幼連青年部研修会

日時 平成二十二年六月十五日(火) 午後五時

会場 ホテルニューイタヤ (南館4F・桜の間)

テーマ 「ディベート」

～ 論題・幼保一元化は必要か～

黒川新委員長の挨拶の後、研修会に入った。まずは、ディベートについてのレクチャーから。今回は初の試みとあって手探り状態が始まったが、参加した部員二十二人の熱心な取り組みは、会場の温度が一気に上がったほどだった。

ディベートの実践では、個人の意見は別にして、テーマごとに肯定グループ・否定グループに分かれて、それぞれの立場で弁論した。より「説得」できたのはどちらかという観点でジャッジし、勝敗をわけた。それぞれの立場で弁論していく中で、

テーマへの自分の考え方が明確になり、また自分の長所や短所に気づくなど、有意義な研修会となり、予定時間をオーバーして終了した。



平成22・23年度 栃幼連役員・委員会構成

役職名	氏 名	園 名
顧問	小林 龍雄	呑 竜
//	石川常四郎	アルス
//	寺尾 球司	太 陽
//	栗原 信明	国 谷

役職名	氏 名 (園 名)	担 当
理事長	石嶋 昇 (きつれ川)	総務委員会
副理事長	石嶋 勇 (すすめ)	振興・102条園対策委員会
//	小林 研介 (呑竜)	教育研究・青年部委員会
//	中川 祐慈 (清滝寺)	経営研究・広報委員会

●総務委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	平野 章雄	栗の実	常任理事
副委員長	宇南山照元	真岡ひかり	理 事
委 員	倉松 和彦	能満寺	//
//	國古真理子	みふみ	//
//	荒木 龍胤	せんだん	//
//	川又 正夫	足利くるみ	//
//	安藤 儀一	犬伏	//
専門委員	堀 昌道	岩舟	
//	佐藤 峻介	いすみ	
//	中村 京子	かしわ	
//	斎藤 達成	あけぼの	

●振興委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	磯 行雄	黒磯いすみ	常任理事
副委員長	木嶋 浩史	御幸	理 事
委 員	今井 政範	さくらが丘	//
//	小瀬 昭一	茂木愛泉	//
//	山越 忍隆	足利	//
//	町田 郁夫	おおひらふじ	//
専門委員	宮入 玄英	足利ひかり学園	
//	石原 顕彰	佐野たちばな	
//	内木 大輔	第二薬師寺	
//	堀川 照子	鹿沼みどり	
//	根村 隆宣	輪王寺附属日光	常任理事
//	長内 郁子	烏山聖マリア	

●教育研究委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	戸田 直樹	すぎのこ三島	常任理事
副委員長	山荷フサ子	作新学院	理 事
//	大中 清見	法得	//
委 員	井上 智賀	旭	//
//	小野塚 聡	おもちゃのまち	//
//	小倉 庸寛	愛泉	//
専門委員	高柳 恭子	宇都宮大学附属	
//	加藤みどり	真岡さくら	
//	桑子 佳子	矢場川	
//	高瀬 恵	佐野みのり	
//	斎藤 佳子	しすわでら	
//	佐藤麻矢子	野ばら	
//	岡田 幾子	鹿沼みどり	
//	大嶋 裕	今市中央	
//	小堀 泉	氏家	
//	栗田 英子	黒羽	

●青年部委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	黒川 弘照	栃木みどり	常任理事
副委員長	大嶋 裕	今市中央	
//	金子 礎泰	聖	
地区幹事	寺尾 淳	太陽	
//	大木 良益	平出	
//	吉羽 俊明	高ノ台	
//	細島 洋明	真岡ふたば	
//	遠藤 英昌	花園	

●経営研究委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	酒井 精一	吹上	常任理事
副委員長	荒居 養雄	育成館	理 事
委 員	木村 尚史	しらさぎ	//
//	船田 弘和	おおみや	//
//	富川 将	間々田	//
//	斉藤 幸成	高根沢第二	//
専門委員	佐藤 広志	七井	
//	新田 文英	足利いすみ	
//	小野塚泰弘	楠エンゼル	
//	円山 仁三	長畑	
//	黒田 光泰	ひかり	

●102条園対策委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	根村 隆宣	輪王寺附属日光	常任理事
副委員長	中臣 昭範	めぐみ	
専門委員	篠崎 馨	恵光	
//	手塚 節子	親和	

●広報委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	馬場 章信	たから	常任理事
副委員長	青柳 信一	晃望台	理 事
委 員	岩本眞砂枝	みどり	//
//	中山 昌樹	あかみ	//
//	桑門 秀光	今市	//
//	瀧田 守	ふたば	//
専門委員	佐々木桐子	萌丘	
//	大塚 真司	東光寺	
//	関口 修司	平川	
//	伊沢 信恭	静林	
//	吉水 義浩	烏山みどり	

○ホームページ委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
HP委員長	青柳 信一	晃望台	理 事
HP副委員長	寺尾 淳	太陽	
H P 委 員	大木 良益	平出	
//	佐々木桐子	萌丘	
//	遠藤 英昌	花園	
//	佐野 延洋	洗心	
//	栗原 健治	国谷	
//	伊沢 信恭	静林	
//	大嶋 裕	今市中央	
//	吉水 義浩	烏山みどり	
//	矢板 真雄	なでしこ	

幼稚園問題研究会



二十一年の年度末にあたる、去る三月十一日（木）、二荒山会館に於いて幼稚園問題研究会が開催された。

今回は、文書学事課より厚木副主幹と池澤主任の二名、栃幼連からは正副理事長・常任理事・各地区会長十六名が出席し次のような内容で協議が行われた。

一、平成二十二年度幼稚園関係予算他

県の財源不足が見込まれる中で幼稚園関係予算や幼保一元化他の説明がされた。

二、平成二十一年度幼稚園設置学校法人等財務関係調査結果

学校法人及び幼稚園管理運営を適切に行う上で留意する点の説明がされた。

三、その他

栃幼連側から、認定こども園の認定基準の緩和のための質問等がされた。



栃木県私立幼稚園振興連盟 平成二十二年度総会



平成二十二年度栃幼連五月総会終了後、栃木県私立幼稚園振興連盟の総会が同所にて開催された。

石嶋勇振興連盟会長より、今後県政への積極的な振興活動を推進していきたい、また今年七月には参議院の選挙があるとの挨拶の後、議長に花岡義朗氏（梅ヶ原幼稚園）を選出後、「資格審査」会員数百八十名中、出席九十八名、委任状出席七十二名、「議事録署名人」香川玲子氏（鹿沼ひかり幼稚園）月江ハル氏（虹ヶ丘幼稚園）「記録人選出」大森愛実（事務局）の手續を経て議事に入った。

①平成二十一年度事業報告並びに収支決算の承認について②平成二十二年事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認について③自民党栃木県私立幼稚園支部平成二十一年度収支決算並びに平成二十二年年度収支予算（案）の承認について④役員改選についての四議案は、すべて原案通り可決承認され振興連盟会長及び、自民党県幼支部長には石嶋勇氏が再任した。

教員養成機関・栃幼連 懇談会

日時：平成二十二年六月七日（月）
午前十時三十分
場所：二荒山会館（亀の間）

県内の幼稚園教諭養成機関と栃幼連正副理事長・各委員長との恒例の懇談会が開催され、中川祐慈副理事長の進行のもと、活発な情報交換が行われた。

出席した教員養成機関（順不同）

作新学院女子短期大学部二名、白鷗大学二名、國學院大學栃木短期大学二名、足利短期大学一名、佐野短期大学一名、宇都宮短期大学二名、国際介護福祉専門学校一名、宇都宮ビジネス電子専門学校二名



主な懇談内容

①幼稚園教諭就職説明会について

日時：七月十日（土）十二時
場所：マロニエプラザ

ここ数年、参加学生の減少傾向が続いていることを踏まえ、学生の動向や、説明会に対する各校の取り組みについてお聞きした。

説明会については周知するだけのところ、休校・引率までとすること、まちまちであった。

養成機関として、学生の保育園志向が高まっているとの感があるが、客観的な意識調査をしてみることも必要との意見も聞かれた。

なお、今回も説明会実施に対して養成機関各校からご協賛をたまわることになった。

②教育実習について

学生の麻疹ワクチン接種への対応については、入学時に抗体検査を実施するところ、自己申告によるところ、受入幼稚園の要否判断により対応するところと、まちまちであり、今後のさらなる対応の必要性が確認された。

③学生の幼稚園就職に関する諸問題について

養成機関側から、就職前の事前研修を実施する場合の手当等について、いまだ無給の幼稚園もあるとの指摘がなされ、栃幼連として再度、周知することが確認された。

また、男性教諭採用についての質問に対して、それぞれの園の考え方が回答された。



幼児教育センターだより



幼児教育センター 事業について

四月二日に第一回新規採用幼稚園教諭研修を実施し、本年度採用の先生方、二〇二名とともに、幼児教育センター事業も二十二年度のスタートを切りました。

開講式では、石嶋昇柝幼連理事長、新井隆文書学事課長、増田眞千子幼児教育センター長からあいさつがあり、幼稚園教諭となった先生方へのエールが送られました。

「幼稚園教育とは」「幼稚園教諭（社会人）としての心構え」「幼稚園における人権教育」「幼児期の健康管理と安全管理」の講話があり、



受講の先生方からは「具体例が多かったので、保育のイメージが付き、参考になった」という感想が多く寄せられました。

これから一年間の研修内容は、大学での授業内容との重複も多くありますが、現場に立つ保育者として、学生時代とは異なる学びとなるよう、職員一同、応援させていただき

ます。

新規採用幼稚園教諭研修の他にも、これから夏休みにかけて、次の研修を実施します。

- パワーアップセミナー
- 幼稚園教職十年経験者研修
- 地区別合同研修（幼・保・小）
- 特別支援教育研修
- 発達心理学講座
- スキルアップセミナー

スキルアップセミナーでは、絵画指導や表現運動、食育に関する三つのテーマを設定しました。

また、パワーアップセミナーでは、今日的な課題となっている子育て支援について、幼稚園の専門性を生かした取組を企画していく内容となっています。

各研修についての詳細は、幼児教育センターガイドブック（若草色の冊子）をご覧ください。たくさんの方の先生方の参加をお待ちしております。

幼稚園教育要領の 実施に伴って

昨年度から幼稚園教育要領が全面実施となり、各園においては、新しい教育課程に基づいた保育実践を重ねられていると思います。センターでは、実施に伴う疑問にお応えできるよう「幼児教育Q&A」を作

成しました。

近日中に送付の予定ですので、ご活用ください。

幼・保・小連携研修

五月十三日に総合教育センター大講義室で行いました。文教大学教授の嶋野道弘先生を講師に迎え、「幼・保・小の連携の充実に向けて」という題でご講話をいただきました。

嶋野先生は文部科学省主任視学官のご経験を経ての現職で、生活科教育を研究・推進する立場から、次のような話をされました。

教育基本法に幼児期から大学までの体系的な教育の重要性が明記された。これを実現するには各学校種間の連携が重要となる。幼・保・小の連携は子どもの学びや発達の連続性をとらえていくことが大切である。

連携の課題を確認し、自分の周囲で行われている取組が形骸化していないか考えてみよう。

連携・接続の必要性は、教育要領・保育指針・学習指導要領にも明記され、それを保育・教育現場で具体化していく必要がある。幼・保の先生は生活科に、小の先生は保育に関心をもってほしい。

子どもの望ましい成長・発達には適度な段差が必要である。この適度な段差を保持しつつ、なめらかな接

続を図ることが重要となる。接続を考えるポイントに「協同すること」を考えたい。

センター発行のリーフレットにも触れていただき、これからの栃木県の幼・保・小連携の進め方について示唆の多い内容でした。

センター職員紹介

今年度は、職員の変更はありません。八名の職員が協力して、事業に取り組んでいきたいと思っています。

保育・教育アドバイザーもご好評をいただいています。「教育課程の編成」「保育研究」「科学あそび」などの園内研修や、「就学に向けての心構え」「幼児の生活習慣」など保護者向けの研修会等にご利用ください。

これまで同様のご支援をいただきますようお願いいたします。

（文責 鈴木智恵）

よろしくお願いします



（前列左から）
松本補佐・増田センター長・青木顧問
（後列左から）
鈴木（喜）幼児教育専門員・瀧田幼児教育専門員
永井副主幹・鈴木（智）指導主事・高木指導主事

学事だより

県文書学事課

四月の定期異動により、文書学事課に新井課長、村上副主幹、伊藤主事が配属となりました。

私共一同引き続き私立幼稚園行政の推進に努めてまいりますので、本年度もよろしくお願いいたします。



- 伊藤 主事
- 佐藤 主査
- 村上 副主幹
- 篠崎 主査
- 池沢 主査
- 大塚 課長補佐
- 新井 課長
- 金田 主幹兼課長補佐(総括)

学校基礎調査(教職員確認等)のヒアリング実施について

学校基礎調査(第二回・教職員確認等)のヒアリングを次の日程で実施します。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、担当者の出席について、ご協力をお願いします。

●日程 平成二十二年七月五日(月)～七月九日(金)

及び七月十三日(火)

●場所 本館六階大会議室

その他詳細については、別途送付している通知文を参照願います。

各種届出書類について

平成二十一年度及び二十二年度に園則、園地・園舎、理事・監事等の変更を行い、届出を提出されていない場合は、速やかに提出されるようお願いいたします。

幼稚園緊急環境整備事業費補助金について

学校法人を対象とする幼稚園緊急環境整備事業費補助金については、今年度までの事業となります。交付申請書の提出期限は、六月二十五日(金)です。詳細については、別途送付している通知文を参照願います。

平成二十二年 七月～九月の事業予定

7月2日	教頭・主任講座
7月3日	資質向上選抜養成講座Ⅵ
7月5日	保育セオリー講座
7月10日	就職説明会
	※保育を語る会
7月13日	※地区別合同研修(幼・保・小)
7月26日	第57回県教研大会
7月26日	バス安全運転講習会
7月27日	新採研(集合研修)
	免許状更新講習
7月29日	※特別支援教育研修
7月30日	※10年経験者研修
8月2日	※特別支援教育研修
8月6日	新採研(宿泊研修)
8月9日	※10年経験者研修
8月11日	※パワーアップセミナー
8月17・18日	全日私幼関東地区教研大会(千葉)
8月19日	資質向上選抜養成講座Ⅵ
8月20日	※スキルアップセミナー
8月24日	資質向上選抜養成講座Ⅵ
8月26日	※スキルアップセミナー
9月4日	※保育を語る会
9月9日	※スキルアップセミナー
9月14日	設置者・園長研修会
9月16日	保育テクニカル講座
	※は幼児教育センター事業

表彰

平成二十二年 県各種功労者等表彰(県知事表彰)

- パンビ幼稚園 理事長 小笠原義仁 先生
- 足利幼稚園 副園長 山口佐和子 先生
- 花園幼稚園 主任 早川 静枝 先生

平成23年度 栃木県幼稚園教諭就職説明会

平成22年7月10日(土) PM12時～PM3時
会場：マロニエプラザ大展示場
有意義な説明会となるよう全園の参加をお願いします。

第57回県教研大会

平成22年7月26日(月)～27日(火)
第1日目 開会式・全体会
第2日目 分科会
会場：栃木県総合文化センター他
大会テーマ
「幼児教育の成果を示そう」
「人格形成は幼児期の生活とあそびから」

編集後記

予定より遅れての発行となり、大変申し訳ありません。もりだくさんの内容で、せっかくの写真が大きく掲載できないことが残念です。が、無駄な情報は一つもありません。どうぞ、隅々までお目通しいただき、情報を共有して組織力を高め、直面する難局に立ち向かっていければと思います。

また、皆様からの情報提供、ご意見もいただきながら、さらに充実した紙面作りに取り組んでいきたいと思っております。ご協力を願っています。

なお次号から、広報委員が持ち回りで編集後記を執筆いたします。どうぞお楽しみに。

(広報委員長 馬場章信)